

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18510215

研究課題名（和文） 韓国における高齢期ライフスタイルの変容

研究課題名（英文） Changing life style of Elderly People in South Korea

研究代表者

小林 和美（KOBAYASHI KAZUMI）

大阪教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：90273804

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：高齢化、韓国、ライフスタイル、高齢者

1. 研究計画の概要

本研究は、韓国社会における高齢期のライフスタイルの変容の動向を、アジア諸社会の動向のなかに位置づけることをめざすものである。本研究課題では、韓国ソウル首都圏および大田広域市における現地調査を通して、高齢者と家族・地域・社会福祉などとの間の関係のあり方の現況とその変容の方向を明らかにすることが具体的な課題となる。そのために、韓国の専門研究者、政府機関、地方行政機関、高齢者福祉施設などを訪問し、聴き取り調査をおこなうとともに、高齢者やその家族などにたいするインタビュー調査をおこなう。その後、収集したデータを分析、解釈し、ソウル・大田それぞれの地域的特色と韓国国内での位置づけ、さらにアジア諸社会の動向のなかでの韓国の特色と位置づけを明らかにしたい。

2. 研究の進捗状況

(1) 調査研究方法の検討

家族社会学、社会福祉学分野における韓国の専門研究者へのヒアリングをおこない、質的調査の重要性、高齢者の多様性など、調査研究上の留意点について助言を受けた。

(2) 現地調査によるデータ収集

①概況調査

ソウル首都圏および大田広域市の中産層が多く居住する地域において、高齢者福祉担当行政機関、高齢者の生活と関連の深い施設等を訪問し、高齢者のライフスタイルの新しい動向を調査した。首都圏では京畿道城南市盆唐区の盆唐新都市を、大田広域市では儒城区大徳研究団地近郊地域を調査対象とした。

民間企業による高齢者向け居住施設の訪問、教会の高齢者向け講座の参与観察、早朝の公園での観察などもおこなった。

②高齢者へのインタビュー調査

大田広域市の儒城区総合福祉センターを拠点に、この地域に居住する高齢者に対し、家族関係・日常生活・社会的支援の実態およびこれらに対する意識についてのインタビュー調査をおこなった。

③高齢者関連施設等の調査

総合福祉センター、デイケアサービス、低所得者向けの療養院、敬老堂など、インタビュー調査で調査対象者が言及した高齢者関連施設を中心に、参与観察、観察、職員へのヒアリングなどの方法で調査をおこなった。

(3) データ分析と関連資料の収集

現地調査で収集したデータの位置づけについて検討するため、関連する新聞・雑誌記事、韓国およびアジア地域の高齢者・家族・社会福祉サービス関連図書・論文等を収集し、韓国およびアジア地域における高齢期ライフスタイルの動向について検討した。また、「生活時間調査」、「社会統計調査」などの統計資料を用いて、日韓比較分析のための基礎資料を作成した。

3. 現在までの達成度

③おおむね順調に進展している。

(理由)

現地調査、資料収集ともに、ほぼ当初の計画通りに実施することができた。本研究の中心となる高齢者に対するインタビュー調査では、調査対象者の承諾を得て録音することができたため、高齢者の多様な生活相を彼ら

自身の語った言葉を通して把握することのできるデータを得ることができた。2008年度は妊娠にともなう体調不良のため、現地での補足調査および資料収集が不可能となったが、分析の中心となるデータはすでに確保しており、また、データの整理も進んでいるので、おおむね順調に進展しているといえる。

4. 今後の研究の推進方策

インタビュー調査データを中心に、現地で収集したデータを分析し、それらの地域的特徴および韓国国内での位置づけについて検討する。さらにアジア諸社会の動向なかでの韓国の特色と位置づけについて検討する。

アジア地域では、高齢者ケアの分野で外国人労働者の労働力利用が目立っており、韓国についてもその実態を把握する必要があることがわかったため、これについての資料収集もおこなうことにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計 1 件)

①小林和美、韓国における高齢者の生活、社会政策学会第115回大会、2007年10月13日、龍谷大学深草キャンパス

[図書] (計 1 件)

①落合恵美子、山根真理、宮坂靖子、小林和美、洪上旭ほか、勁草書房、『アジアの家族とジェンダー』、2007年、70-87